

鳥取縣公報

縣令

號 外 土 曜 日
昭和四年四月廿七日

◇鳥取縣令第三十二號
穀物検査規則左ノ通之ヲ定ム

昭和四年四月二十七日

鳥取縣知事 久保 豊 四 郎

穀物検査規則

第一條 本縣内ニ於テ生産シタル米穀ヲ受渡シ又ハ本縣外ニ移出セムトスル者ハ本則ニ依リ之カ
検査ヲ受クヘシ

本縣外ニ於テ生産シタル米穀ト雖其ノ證憑ナキモノ及本縣内ニ於テ精白シタルモノハ之ヲ本縣内
ニ於テ生産シタルモノト看做ス

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル米穀ハ検査ヲ受クルヲ要セス

- 一、規定ノ容量又ハ重量ニ滿タサル端米
- 二、博覽會共進會又ハ品評會等ニ出品スルモノ
- 三、學術研究若ハ試験ノ用ニ供スルモノ
- 四、自家消費ノ爲他人ニ委託シテ加工スルモノ

五、徵發若ハ強制執行ニ依リ受渡スルモノ又ハ國有ニ屬スルモノ
 六、碎 米
 七、本縣内ニ於テ受渡スル精米
 八、救恤其ノ他特殊ノ事由アルモノ
 前項第二號第三號第四號第六號又ハ第八號ノ米穀ヲ運搬又ハ移出セムトスル者ハ其ノ米穀ノ各包
 裝ニ左ノ票箋ヲ添附シ最寄穀物検査出張所又ハ同派出所ニ申出テ其ノ票箋ニ左ノ検査免除印ノ押
 捺ヲ受クヘシ

票 箋 (雛形) 長十糎五 (約三寸五分) 幅四糎五 (約一寸五分) ノ強韌ナル洋紙 (模造紙ノ類)

縣	市郡	出 人	村町
縣	市郡	屈先人	村町
昭和	年	產 梗 (糯) 玄 (精) 米	
正 味 量		立 (庇)	
年 月 日			

検査免除印 (雛形)



徑 三 糎
 肉 色 紫

第三條 検査ハ生産検査移出検査及入庫検査ノ三種トス

生産検査ハ賣買交換贈與貸借辨濟擔保寄託又ハ小作料授受等ノ爲本縣内ニ於テ受渡スル米穀ニ就
 キ現品所在地若ハ検査請求者ノ希望ニ依リ穀物検査所長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ行フ
 移出検査ハ本縣外ニ移出スル米穀ニ就キ停車場船積場農業倉庫又ハ特ニ指定シタル場所ニ於テ之
 ヲ行フ 但シ本縣外ニ移出スルニ非サル米穀ト雖特ニ穀物検査所長ノ承認ヲ受ケタルモノニ對シ
 テハ指定ノ場所ニ於テ移出検査ヲ行フコトアルヘシ
 入庫検査ハ穀物検査許可申請手續ニ依リ許可ヲ受ケタル農業倉庫ニ寄託スル米穀ニ就キ其ノ倉庫
 ニ於テ入庫ノ際之ヲ行フ
 生産検査又ハ入庫検査ヲ受ケタル玄米ニ非サレハ移出検査ヲ受クルコトヲ得ス
 入庫検査ヲ受ケタル米穀ハ生産検査済ノモノト見做ス

第四條 検査ハ米穀ノ左ノ事項ニ就キ之ヲ行フ

- 一、品 質
- 二、乾 燥

三、調製
四、粒形
五、容量及重量
六、包裝

第七、

精米ニ在リテハ前各事項ノ外搗精ノ程度

第五條 検査ヲ受クヘキ米穀一包裝ノ容量ハ七二、一六立(四斗)トスヘシ但シ吸入若ハ袋入ノ精米ハ三六、〇八立(二斗)又ハ正味重量六十庇若ハ三十庇トナスコトヲ得

移出検査ヲ受クル米穀ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ定量ヲ缺クモノト看做ス

一、當年産ノ玄米ニシテ九月一日ヨリ十一月三十日ニ至ル期間ニ於テ一俵七二、七〇立(四斗三合)ニ滿タサルモノ

二、生産ノ當年糶摺シタル玄米ニシテ其ノ翌年六月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル期間ニ於テ一俵七三、〇六立(四斗五合)ニ滿タサルモノ

三、精米ニシテ機械搗ノモノハ搗精ノ當日ハ俵入七三、二四立(四斗六合) 及び袋入七三、二四立(四斗六合) 若ハ三六、六二立(二斗三合) 搗精ノ翌日ハ俵入七二、五二立(四斗二合)

及び袋入七二、五二立(四斗二合) 若ハ三六、二六立(二斗一合) 杵搗ノモノハ搗精ノ當日ハ俵入七三、〇六立(四斗五合) 及び袋入七三、〇六立(四斗五合) 若ハ三六、五三立(二斗二合五勺)

搗精ノ翌日ハ俵入七二、三四立(四斗一合) 及び袋入七二、三四立(四斗一合) 若ハ三六、一七立(二斗五勺)ニ滿タサルモノ

第六條 検査ヲ受クヘキ米穀ノ包裝ハ左ノ各號ニ依リ二重俵裝ト爲スヘシ但シ精米ニハ一俵又ハ一俵用スルコトヲ得

一、棧俵ノ材料ニハ能ク乾燥シテ「上」ノ附着セサル「シグリ」藁ヲ用フルコト、但シ内俵及棧俵ハ古藁ヲ用フルヲ要ス

二、内俵

菰ノ編方ハ小繩ヲ用ヒ封間各十八纏(約六寸) 兩鬚ノ長サ各十五纏(約五寸)トシ密ニ四箇所ヲ編ミ房數五十五手編トシ長サ約一米十五纏(約三尺八寸) 重量一、九庇乃至二、二庇(約五百匁乃至六百匁)ト爲スコト

棧俵ハ直繩三十纏(約一尺) 重量二個ニテ五百六十匁乃至七百五十匁(約百五十匁乃至二百匁)ト爲スコト

繩ハ周リ二、四纏乃至二、七纏(約八分乃至九分)ノ中繩トスルコト

俵裝仕様ハ俵ノ小口ニ外側ヨリ棧俵ヲ充テ小口隙ヲ目通シ八箇所千鳥掛ト爲シ横繩ハ各二廻リ三箇所緊括スルコト

三、外俵

菰ノ編方ハ小繩ヲ用ヒ封間中央二十四纏(約八寸) 左右各二十一纏(約七寸) 兩端鬚各十六纏(約五寸) 密ニ四箇所ヲ編ミ房數八十手編以上長サ一、三米(約四尺三寸) 重量一、一三庇乃至一、五庇(約三百匁乃至四百匁)ト爲スコト但シ生産検査又ハ入庫検査ヲ受クルモノニ在リテハ之ニ依ラサルコトヲ得

繩ハ打柔ケタル藁ヲ以テ細ヒ廻リ三纏乃至三、六纏(約一寸乃至一寸二分)ノ摺掛ノ太繩ヲ用フルコト但シ生産検査又ハ入庫検査ヲ受クルモノニハ周リ二、七纏(約九分)内外ノ繩ヲ用フルコトヲ得

俵裝仕様ハ小口隙ヲ目通シ九箇所トシ一ツ越目通シ掬ヒ隙トシ終リヲ結止トシ横繩ハ各二廻

リ五箇所緊括シ縦繩ハ二筋ニテ四方掛ト爲シ兩端ノ横繩及縦繩ノ交叉點ニハ蛙股ニ其ノ他ノ各横繩ニハ掛戻シ小口ニ於テ引キ締メ男結トシ俵ノ長サハ七十六粒(約二尺五寸)内外ト爲スコト但シ生産検査又ハ入庫検査ヲ受クルモノニ在リテハ縦繩ハ一筋ニテ四方掛トシ兩端以外ノ横繩ニハ掛戻シヲ省略スルコトヲ得

前項但書ニ依リ精米ノ包裝ニ吠又ハ袋ヲ用フル場合ハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一、吠

良質ナル打藁ヲ用ヒ織目四十二内外筵幅八十四粒(約二尺八寸)筵長一米六十五粒(約五尺五寸)内外トシ一枚ノ重量一、八八粒乃至二、〇六粒(約五百匁乃至五百五十匁)トシ縫目二十三乃至二十六ト爲スコト

二、袋

脱漏ノ虞ナキ強靱ナル木綿又ハ麻製ノモノヲ用フルコト

三、吠及袋ノ結束

繩ハ二重俵裝ノ外裝ト同様ノモノヲ用ヒ七二、一六立(四斗)入ニ在リテハ縦繩ヲ二廻リ四箇所横繩ヲ二筋二箇所トシ三六、〇八立(二斗)入ニ在リテハ縦繩ヲ二廻リ三箇所横繩ヲ二筋一箇所トシ横繩ハ各縦繩ニ蛙股掛トシ充分緊括シ結止ト爲スコト但シ生産検査ヲ受クルモノニ在リテハ縦繩ヲ三箇所横繩ヲ一箇所ト爲スコトヲ得

特別ノ事由アルモノノ包裝ハ穀物検査規則施行手續ニ定ムルモノノ外知事ノ許可ヲ得テ前各項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第

七 條 前條第一項第三號又ハ同條第二項第三號ニ依リ特別ノ包裝ヲ施シ生産検査又ハ入庫検査ヲ受ケタル米穀ニ付移出検査ヲ受ケムル者ハ其ノ包装ヲ前條ニ定ムル正規ノ包裝ニ改ムルコ

第

トヲ要ス

前項ニ依ル改装ニ就テハ第十六條第一號ヲ適用セス

八 條 検査等級ハ生産検査ニ在リテハ甲乙丙格外移出検査及入庫検査ニ在リテハ粳米ハ大粒小粒ニ區別シ玄米ハ一等二等三等四等等外精米ハ一等二等三等外糯米ハ玄米及精米共ニ一等二等三等外ニ區分ス

風水災其ノ他ノ災害ノ爲著シク米穀ノ品位ヲ損シタル場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ検査等級ニ生産検査ニ在リテハ丁移出検査及入庫検査ニ在リテハ粳玄米ニ五等粳精米及糯米ニ四等ヲ増設スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ都度之ヲ告示ス

第

九 條 検査ハ穀物検査吏員之ヲ行フ但シ自己ノ利害ニ直接關係アル米穀ノ検査ハ之ヲ行フコトヲ得ス

穀物検査吏員其ノ職務ヲ行フトキハ左ノ證票ヲ携帯スルモノトス

證票(雛形) 用紙ハ模造紙長サ九粒幅六粒

面	表	裏	面
第 號 穀物検査吏員證		年 月 日 交付 鳥 取 縣 印	
職 氏 名			

第十條

検査ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ書面ヲ以テ移出検査及入庫検査ハ最寄穀物検査出張所ニ生産検査ハ所管穀物検査派出所ニ請求スヘシ

一、検査ノ種類

二、検査請求者ノ住所氏名

三、米穀ノ種類(稗糯玄精米ノ別)及數量

四、現品所在地

五、移出スルモノニ在リテハ其ノ仕向地及輸送方法

六、生産検査又ハ入庫検査済ノモノニ在リテハ其ノ検査ノ種類及等級

七、検査手数料金高

八、受檢希望ノ日

九、再検査ヲ受クルモノニ在リテハ其ノ事由及前検査月日

第十一條

検査ヲ受クル米穀ニハ其ノ各包装ノ小口ノ縦繩ニ左ノ票箋ヲ結付クヘシ 票箋(雛形)長サ十厘五(約三寸五分) 幅四厘五(約一寸五分)ノ強靱ナル洋紙(模造紙ノ類)

生産検査票箋

縣	市郡	町大字
昭和	年産	米
正味	糯玄(精)	立(庇)
皆掛重量	量	庇(貫匁)
月	量	日検査

今摺米、陸米ノ別及品種名ニ限リ裏面ニ記載スルコトヲ得

移出検査及入庫検査票箋

縣	市郡	町大字
昭和	年産	米
正味	糯玄(精)	立(庇)
皆掛重量	量	庇(貫匁)

今摺米陸米ノ別及品種名ニ限リ裏面ニ記載スルコトヲ得

第十二條

検査ヲ受ケムトスル者ハ別ニ定ムル規程ニ依リ検査手数料ヲ納付スヘシ

第十三條

穀物検査吏員検査ヲ行ヒタトキハ生産検査ニ在リテハ封緘紙ヲ用ヒテ縦繩ノ結止ニ卷封ヲ爲シ票箋ニ検査年月日及検査等級ヲ記入シテ検査證印ヲ押捺シ入庫検査ニ在リテハ票箋ニ検査證印ヲ包装面ノ一端ニ検査等級證印ヲ押捺ス但シ移出検査ニ在リテハ生産ノ翌年五月一日以後ニ糶摺ヲ爲シタル米穀ニハ今摺米記號印ヲ陸米ニハ陸米記號印ヲ糯米ニハ糯米記號印ヲ各其ノ包装面ニ押捺ス袋ヲ用フルモノニ在リテハ票箋ニ検査證印ヲ押捺シ其ノ包装面ニ検査等級證印ノ押捺ヲ省略ス 前項ノ検査等級證印検査證印封緘紙及記號印左ノ如シ

検査等級證印(雛形)

肉色

青

大粒

赤

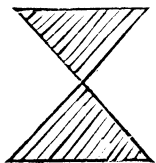
小粒

赤

糯米及陸米

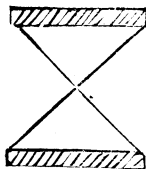
鳥取縣公報 號 外 昭和四年四月廿七日 (第三種郵便物認可)

等 外



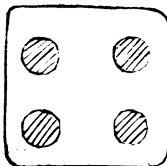
縱 十 厘 五
橫 九 厘

五 等



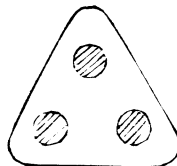
縱 十 厘 五
橫 九 厘

四 等



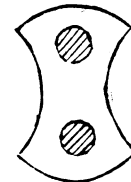
邊 十 厘 五

參 等



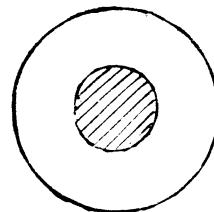
邊 十 厘 五

貳 等



縱 十 厘 五
橫 五 厘

壹 等



徑 十 厘 五

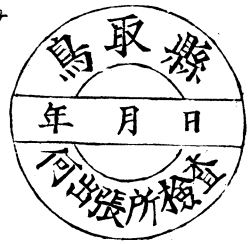
鳥取縣公報 號 外 昭和四年四月廿七日 (第三種郵便物認可)

檢査證印 (錐形)

生産檢査證印
何々町 檢

長徑二糎 短徑一糎
肉色 紫

移出 檢査證印
入庫

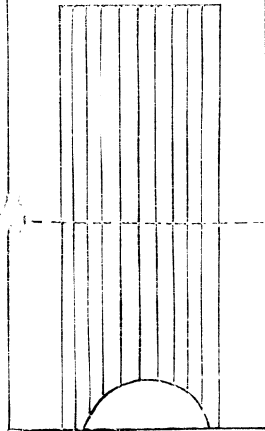


徑三糎
肉色 紫

封緘紙 (錐形) 長十五糎 幅三糎 刷色赤九糎

甲 鳥取縣

年月日

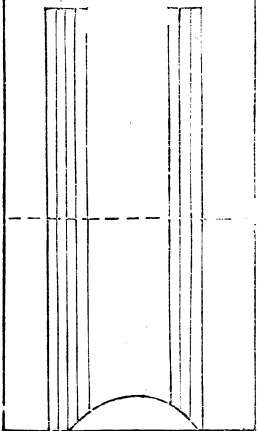


中央二幅一、五糎
ノ縦線一本刷色

乙

鳥取縣

年月日

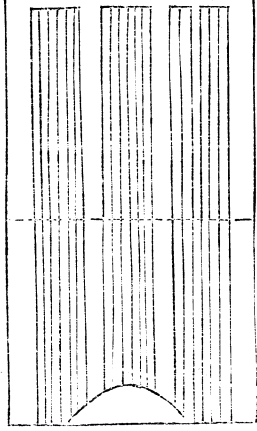


兩側二幅〇、七五
糎ノ縦線二本刷色

丙

鳥取縣

年月日

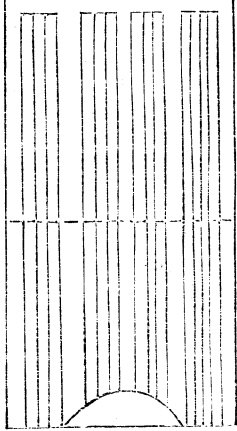


兩側及中央二幅〇、四
糎ノ縦線三本刷色

丁

鳥取縣

年月日

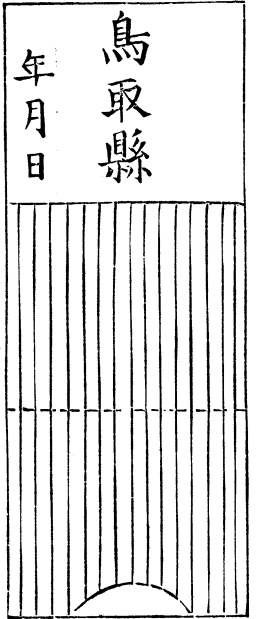


幅〇、三糎ノ縦線
四本刷色

格外

鳥取縣

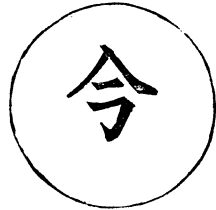
年月日



全部刷色

記號印(雛形)肉色赤

今摺米記號印



徑十厘五

陸米記號印



徑十厘五

糯米記號印



徑十厘五

第十四條 穀物検査吏員検査ヲ行フニ當リ容量重量又ハ包装ノ規定ニ適合セサルモノアリタルトキハ其ノ米穀ノ検査ハ之ヲ中止ス

前項ニ依リ検査ヲ中止シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シ十日以内ニ不備ノ點ヲ正シテ検査ヲ受クルニ非サレハ其ノ米穀ニ付既ニ爲シタル検査請求ハ効力ヲ失フモノトス

第十五條 検査等級ノ決定ニ對シ異議アル者ハ其ノ検査ノ終了シタル日ヨリ起算シ十日以内ニ再検査ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 検査済ノ米穀ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ其ノ事實ヲ申出テ更ニ検査ヲ受クルニ非サレハ之ヲ本縣内ニ於テ受渡シ又ハ本縣外ニ移出スルコトヲ得ス

一、包装ヲ破損シ又ハ改装シタルモノ

二、検査等級證印又ハ検査證印ノ表示カ磨滅汚損シ其ノ識別ヲ爲シ難キモノ

三、封緘紙又ハ票箋ヲ毀損若ハ亡失シタルモノ

四、腐敗變質若ハ減量シ又ハ著シク虫害若ハ鼠害ヲ被リタルモノ

五、移出検査ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三十日ヲ經過シタルモノ但シ玄米ハ收穫ノ翌年五月三十一日迄ニ精米ハ十月一日ヨリ翌年五月三十一日迄ニ検査ヲ受ケ其ノ期間内ニ移出スルモノハ此ノ限

ニ在ラス

第十七條 穀物検査吏員ニ於テ必要ト認ムルトキハ検査済ノ米穀ニ就キ再検査ヲ行ヒ又ハ第二十九條ニ定ムル受託米明細簿ヲ査閲スルコトアルヘシ

前項ノ再検査及査閲ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十八條 再検査ニ依リ前検査ノ等級ヲ變更スルトキハ前検査ノ検査等級證印ハ之ヲ抹消シ票箋ヲ訂正シ生産検査ニ在リテハ封緘紙ヲ破棄スルモノトス

第十九條 検査請求者又ハ其ノ代理人ハ検査ニ立會シ穀物検査吏員ノ指揮ニ從フヘシ

第二十條 検査ノ爲ニ必要ナル積替運搬枳廻秤量解袋改装等ノ勞費ハ検査請求者ノ負擔トス

第二十一條 検査済ノ米穀ニハ生産年度若ハ品位ノ異ナルモノヲ混シ又ハ故意ニ濕氣ヲ施シ又ハ減量スルコトヲ得ス

第二十二條 検査済ノ米穀ハ適當ナル防濕ノ設備ヲ爲スニ非サレハ之ヲ雨雪中ニ運搬シ又ハ濕氣ノ多キ場所ニ積置クコトヲ得ス

第二十三條 検査済ノ米穀ニ使用スル米刺ハ柄ノ部分ヲ除キ長サ三十糎(約一尺)周圍六糎(約二寸)ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十四條 検査済ノ米穀ヲ抽出シタルトキハ直ニ之ヲ元包装内ニ返戻スヘシ

第二十五條 検査済ノ米穀ノ包装面ニ押捺セル検査等級證印記號印及其ノ包装ニ添附セル票箋封緘紙ハ濫ニ之ヲ訂正加除シ又ハ抹消シ若ハ破棄スルコトヲ得ス

第二十六條 検査済ノ米穀ヲ解装シタルトキハ其ノ封緘紙及票箋ヲ破棄スヘシ

第二十七條 米穀ノ包装ニハ本則ニ定ムル検査等級證印又ハ記號印ヲ押捺セル俵以袋又ハ検査證印ヲ押捺シタル票箋ヲ再ヒ使用スルコトヲ得ス

第二十八條 米穀ノ包装若ハ票箋ニ商標印其ノ他ノ表示ヲ爲サムトスル者ハ其ノ表示方法及實形圖ヲ記載シタル書類ヲ添附シ豫メ穀物検査所長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十九條 穀物検査所長ニ於テ必要ト認ムルトキハ前項ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第三十條 移出検査未済ノ米穀ヲ本縣内ニ於テ汽車又ハ船舶ニ依リ移送セムトスル者ハ其ノ米穀ノ種類數量及移送先ヲ穀物検査吏員ニ届出ツヘシ

第三十一條 米穀加工業者ハ受託米明細簿ヲ作り之ヲ營業所ニ備付ケ第二條第一項第四項ニ該當スル米穀ノ加工ヲ受託シタルハ其ノ委託者ノ住所氏名受託數量並受託月日及還付月日ヲ記載スヘシ

第三十二條 前項ノ帳簿ハ記載最終ノ日ヨリ六箇月間保存スルコトヲ要ス

第三十三條 運送業者又ハ運送取扱業者ハ検査ヲ受クヘキ米穀ニシテ未タ其ノ検査ヲ受ケサルモノヲ運送シ又ハ運送ノ目的ヲ以テ取扱フコトヲ得ス

第三十四條 穀物検査吏員又ハ警察官吏ニ於テ本則ニ違反ノ事實アリト認ムルトキハ米穀ノ運搬停止若ハ保管ヲ命シ又ハ關係資料ノ提供ヲ命スルコトアルヘシ

第三十五條 前項ノ命令ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十六條 本則ノ適用ニ依リ生シタル損害ハ縣ニ於テ賠償ノ責ニ任セス

第三十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

一、第一條第二條第二項第十六條第十七條第二項第二十一條第二十二條第二十三條第二十四條第二十五條第二十六條第二十七條第二十八條第二十九條第三十條又ハ第三十一條第二項ニ違反シタル者

二、検査ヲ免レムカ爲又ハ検査ヲ受クルニ當リ不正ノ行爲ヲ爲シタル者

第三十四條 前條ノ罰則ハ違反行爲ノ未遂者及其ノ行爲ヲ教唆シ又ハ幫助シタル者ニ之ヲ適用ス

第三十五條 本則ノ規定ニ違反シタル者カ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セサル未成年者若ハ禁治產者又ハ法人ナル場合ニ於テハ罰則ハ之ヲ法定代理人又ハ法人ノ代表者ニ適用ス

第三十六條 本則ニ依ル義務者ハ其ノ代理人家族使用人其ノ他ノ從業者カ本則ノ規定ニ違反シタル場合ト雖自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

附 則

第三十七條 本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ生産検査ハ昭和三年及其ノ以前ニ於テ生産シタル米穀ニ付テハ之ヲ受クルコトヲ要セス

第三十八條 大正十四年四月鳥取縣令第十三號穀物検査規則ハ之ヲ廢止ス

第三十九條 本則第十三條第二項ニ定ムル検査等級證印ハ當分ノ内舊穀物検査規則ニ定ムルモノヲ以テ代用スルコトヲ得

第四十條 本則施行前舊穀物検査規則ニ依リ検査ヲ受ケタル米穀ハ本則ニ依リ検査ヲ受ケタルモノト看做ス

第四十一條 本則施行前舊穀物検査規則ニ依リ許可ヲ受ケタル商標記號其ノ他ノ表示ハ本則ニ依リ更ニ許可ヲ受クヘシ

鳥取縣令第三十三號

穀物検査手数料規則左ノ通之ヲ定ム

昭和四年四月二十七日

鳥取縣知事 久保 豊 四 郎

穀物検査手数料規則

第一條 穀物検査規則(以下單ニ検査規則ト謂フ)第十二條ノ検査手数料ハ一包裝ニ付キ左ノ通

一、移出検査ヲ受クルモノ

金 八 錢

二、生産検査ヲ受クルモノ

金 參 錢

三、入庫検査ヲ受ケ本縣内ニ於テ受渡スルモノ

金 貳 錢

第二條 検査規則第十六條第二號若ハ第三號ニ該當スルモノノ再検査及検査規則第十七條ノ再検査ニ付テハ検査手数料ヲ徵收セス農業倉庫ニ於テ検査規則第十六條ニ依リ再検査ヲ受クルモノニ付亦同シ

検査規則第十五條ニ依ル再検査ノ検査手数料ハ検査等級ノ決定カ前検査ト異ナリタルトキハ之カ納付ヲ免除ス

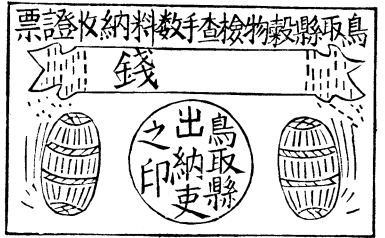
第三條 検査規則第十四條第二項ニ該當スルモノノ既納ノ手数料ハ之ヲ還付セス

第四條 検査手数料ハ検査規則第十條ノ検査請求書ニ鳥取縣穀物検査手数料納收證票(以下單ニ證票ト稱ス)ヲ貼付シテ之ヲ納付スヘシ

第五條 入庫検査ヲ受クル米穀ノ検査手数料ハ其ノ米穀ヲ農業倉庫ヨリ出庫スル際ニ納付スヘシ

第六條 證票ハ左ノ通リトシ縣出納吏ノ印章ヲ押捺シテ之レヲ發行ス

證 票 (雛 形)



縦 二 厘 一
 横 三 厘

縣出納吏ノ印章ハ朱肉色

種 類
 一 圓 券
 五 十 錢 券
 八 錢 券
 三 錢 券
 二 錢 券
 刷 色
 紫 色
 青 色
 黃 色
 褐 色

- 第七條 證票ハ縣ニ於テ指定スル證票賣捌人ヲシテ賣捌セシム證票賣捌人ニ對シテハ賣下金額ノ百分ノ四ヲ取扱費トシテ交付ス
- 第八條 證票賣捌人證票ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ其ノ代金ヲ前納スヘシ
- 第九條 損傷又ハ汚染シタル證票ハ之ヲ使用スルコトヲ得ス
 前ノ證票ハ引換ヲ請求スルコトヲ得

附 則

- 第十條 本則ハ昭和四年四月二十七日ヨリ之ヲ施行ス
 - 第十一條 大正十四年四月鳥取縣令第十四號穀物検査手数料規則ハ之ヲ廢止ス
 - 第十二條 舊穀物検査規則第二條ニ依リ検査ヲ受ケタル米穀ニシテ更ニ移出セムトスルモノノ手数料ハ從前ノ規定ニ依リ納付スルモノトス
 - 第十三條 大正十四年四月鳥取縣令第十四號穀物検査手数料規則ニ依リ發行セル證票ハ昭和四年六月三十日迄ハ本則ニ依ル證票ト同一ノ効力ヲ有ス
 - 第十四條 本則施行前ニ於テ指定ヲ受ケタル證票賣捌人ハ本則ニ依リ指定シタルモノト看做ス
- ◆鳥取縣令第三十四號
 穀物検査許可申請手續左ノ通之ヲ定ム

昭和四年四月二十七日

鳥取縣知事 久保 豊 四 郎

穀物検査許可申請手續

- 第一條 穀物検査規則(以下單ニ規則ト云フ)第三條第四項ニ依リ検査ヲ受ケムトスル農業倉庫ハ左記ノ事項ヲ具シ知事ニ申請スヘシ
 - 一、申請者ノ名稱及事務所所在地
 - 二、受檢場所
 - 三、一箇年間ノ受檢豫定數量
 - 四、俵裝ノ方法
 - 五、小作米ニ對スル行賞補償並俵裝料補給ノ方法及數量金額
 - 六、入庫獎勵若ハ受檢獎勵方法

00143

- 第二條 前條第一項第四號乃至第六號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ豫メ知事ノ許可ヲ受クヘシ
- 第三條 知事ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ヲ届出ツヘシ
 - 一、第一條第一項第一號乃至第三號ノ事項ヲ變更シタルトキ
 - 二、入庫検査ヲ受ケサルニ至リタルトキ
 - 三、四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ニ入庫獎勵若ハ受檢獎勵ノ爲支出シタル金額若ハ米量
- 第四條 知事ノ許可ヲ受ケタル者ハ穀物ノ保管運搬ニ就キ穀物検査吏員ノ指導ヲ受クルモノトス
- 第五條 第二條第三條又ハ第四條ニ違背スルトキハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

附 則

本手續ハ昭和四年四月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年四月鳥取縣令第十五號穀物検査許可申請手續ハ之ヲ廢止ス

訓 令

◇鳥取縣訓令甲第七號

警 察 署 長
市 町 村 長

今回縣令第三十二號ヲ以テ穀物検査規則ヲ改正發布シ又一般ニ對シ告諭ヲ發セリ 惟フニ從來施行シタル穀物検査ハ移出検査ニ在リテハ強制制度ナリシト雖集積検査ハ任意制度ナリシヲ以テ其ノ検査數ハ生 高ノ三割内外ニ止マリ他ノ大部 米穀ハ未検査米ニシテ乾燥調製俵裝等十分ナル改善ヲ見

00144

ル能ハサルノミナラス取引上公正圓滑ヲ 甚タ遺憾トスル情況ニ在リ仍テ爰ニ強制ニ依ル生産検査ヲ施行シ本縣産米ノ改善ヲ圖ラムトスル所以ナリ

然リト雖本事業ノ實施ニ當リテハ其ノ趣旨未タ徹底セサル爲根本精神ヲ謬リ検査上幾多ノ支障ヲ生スルコトナキヲ保セス宜シク此ニ留意シ當業者ヲシテ克ク検査制度改正ノ本旨ヲ會得セシメ品位ノ向上俵裝ノ改善農業倉庫ノ利用ヲ促スト共ニ違犯ヲ未發ニ防止シ特ニ地主小作兩者ニ就テハ検査ニ依ル利益ノ均衡ヲ保タシムル等協和親善ヲ圖リ以テ之カ目的ヲ達成スルニ遺憾ナキヲ期スヘシ

昭和四年四月二十七日

鳥取縣知事 久保 豊 四 郎

◇鳥取縣訓令甲第八號

穀物検査所長

穀物検査規則施行手續左ノ通之ヲ定ム

昭和四年四月二十七日

鳥取縣知事 久保 豊 四 郎

穀物検査規則施行手續

- 第一條 穀物検査規則(以下單ニ規則ト稱ス)ニ定ムル検査ハ本手續ニ依リ之ヲ行フヘシ
- 第二條 穀物検査吏員ハ本縣外ニ於テ生産シタルコトヲ承認スル爲其ノ米穀ノ移入又ハ搬入ノ點檢ヲ爲シ之ヲ點檢簿ニ記載スヘシ
- 外國米臺灣米ハ本縣内ニ於テ精白シタルモノト雖點檢確認ニ依リ本縣内ニ於テ生産シタルモノト看做ササルコトヲ得

- 第三條 規則第二條第一項第一號ノ規定ノ容量又ハ重量ニ滿タサル端米トハ二包裝以上ヲ集計スルモ玄米ニ在リテハ七二、一六立(四斗)未滿精米ニ在リテハ本縣内ニ於テ受渡スルモノハ七二、一六立(四斗)本縣外ニ移出スルモノハ三六、〇八立(二斗)又ハ三十庇未滿ノモノヲ謂フ

規則第二條第四號ノ米穀ハ食糧米トシテ他人ニ委託シテ搗精スル玄米又ハ粃ニシテ搗精後之ヲ他人ニ受渡スルヲ得サルモノヲ謂フ

穀物検査吏員規則第二條第八號ノ検査ノ免除ヲ承認セムトスルトキハ其事由ヲ具シ穀物検査所長ノ指揮ヲ受クヘシ但シ本縣内ニ於テ受渡スル米穀ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此ノ限ニアラス

- 一、災害ノ場合ニ贈ルモノ
 - 二、冠婚葬祭ノ場合ニ贈ルモノ
 - 三、他家ニ在ル自己ノ家族ノ食糧トシテ送ルモノ
 - 四、扶養義務者ヨリ食糧トシテ送ルモノ
 - 五、入庫検査ヲ受クル目的ヲ以テ運搬スルモノ
 - 六、共同販賣又ハ共同受檢ノ目的ヲ以テ検査指定場所ニ運搬スルモノ
- 規則第二條第二項ノ届出ヲ受ケタルトキハ其事由ヲ調査シ票箋ニ承認年月日ヲ記入シ検査免除印ヲ押捺シ備付ノ承認簿ニ記載スルシ
- 第四條 穀物検査吏員ハ生産検査施行前其ノ所管内ノ産米調査ヲ行ヒ併セテ産米改良包裝改善ノ指導ヲ爲スヘシ
- 規則第三條第二項ノ現品所在地ニ付テハ關係者ニ於テ検査場所ヲ協定シ其ノ代表者又ハ市町村長ヨリ之ヲ穀物検査所長ニ届出テタルトキハ指定場所ト爲スコトヲ得
- 規則第三條第三項ノ検査場所ハ豫メ検査請求者ヨリ届出ヲ爲サシメ之ヲ指定スヘシ但シ検査施行上支障アル場合ハ之ヲ取消スコトヲ得
- 第五條 検査ヲ行フニ當リテハ検査請求書ノ記載事項ト見品トヲ照合シ各包裝ニ就キ左ノ通行フ

一、票箋記載事項ノ調査

- 二、包裝ノ検査
 - 三、品位ノ検査
 - 四、重量ノ検査
 - 五、容量ノ検査
 - 六、精米ニ在リテハ搗精程度ノ検査
- 第六條 容量ノ検査ハ量器ヲ用ヒ左ノ割合ニ解裝シテ榼廻ヲ爲シ之ヲ各包裝ノ容量ト看做ス
- 一、等級別ニ二十包裝迄ハ一包裝以上ヲ指定ス
 - 二、集合シテ検査ヲ受クルモノハ生産者別ニ二十包裝迄ハ一包裝以上ヲ指定ス
 - 三、二十一包裝以上ハ二十包裝ヲ増ス毎ニ區分シ其ノ每區切ヨリ一包裝以上ヲ指定ス
- 榼廻ノ方法ハ榼ニ一割以上ヲ盛り靜ニ斗概ヲ引キ其ノ結果一包裝ノ容量ノ不足〇、三六立(二合)未滿ナル場合ハ穀物検査吏員立會ノ上同種同級米ヲ各包裝ニ補足セシメ検査ヲ行フコトヲ得
- 第七條 皆掛重量ノ検査ハ衡器ヲ用ヒ之ヲ行ヒ票箋記載ノ重量ト對照シ正否ヲ檢スヘシ
- 票箋ニ記載ノ重量不正確ト認メタルトキハ再秤量ヲ爲サシメ検査ヲ行フヘシ
- 第八條 包裝ノ検査ハ規則第六條ノ各事項並其ノ形狀及緊括ノ程度ヲ檢シ其ノ適當ヲ決シ不備ノ點アルトキハ之ヲ完備セシメタル後次ノ検査ニ着手スヘシ
- 特別ノ事由アルモノハ移出検査ノ外俵ニ長サ一、五二米(約五尺)幅七六糎(約二尺五寸)兩糎ノ長サ各七、六糎(約二寸五分)織目繩三十五筋以上ヲ以テ百三十手編以上ニ編ミ其ノ重サ一、一二五匁(約三百匁)以上ノ麩ヲ用ヒ生産検査ニ長サ一、一五米(約三尺八寸)封間中央二四糎

00147

(約八寸)左右各二一糶(約七寸)房數繩一本ニ對シ五十七手編以上重量三、七五疋(約一貫)以上ノ三本編複式編俵ヲ使用セシムルコトヲ得
規則第六條第一項第三號但書ニ依ル外俵ハ著シク汚染損傷セサルモノ及裏返シセルモノヲ使用セシムルコトヲ得

規則第三條第三項但書ノ移出検査ヲ受クルモノニ在リテハ受渡關係者ノ希望ニ依リ規則第六條ノ正規ノ包裝ニ依ラシメサルコトヲ得

第九條 入庫検査済ノ米穀ヲ移出セムトスル者アルトキハ規則第十條ノ請求書ヲ徵シ左ノ通之ヲ行ヒ検査等級證印ヲ押捺スヘシ

一、規則第七條ニ依ルモノハ改裝後票箋包裝品位重量及容量ヲ検査スルモノトス
二、規則第六條ニ依ル正規ノ包裝ニ適合セルモノハ票箋及包裝ヲ検査スルモノトス
前項第二號ノモノト雖検査吏員必要ト認ムルトキハ規則第三條第六項ヲ適用ス

入庫検査ヲ受ケタル米穀ヲ本縣内ニ於テ受渡ノ爲出庫スル者アル場合ハ其ノ用途等級及數量ヲ申告セシメ各包裝面ニ左ノ記號ヲ表示スヘシ

記 號 (錐形) 着 色 赤

× 長サ一一糶(約三寸六分) 幅一、五糶(約五分)

第十條 品位ノ検査ハ米刺ヲ用ヒ各包裝ノ二箇所以上ヨリ米穀ヲ抽出シ品質乾燥調製粒形若ハ搗精ノ程度ヲ標準米ニ準據シテ鑑別スヘシ但シ必要ト認ムルトキハ解裝セシメ検査スルコトヲ得
前項ノ検査ノ結果其ノ等級カ標準米ノ各等級ニ該當セサルモノハ之ヲ等外又ハ格外トス

米穀ノ調製不良ニシテ改善ノ餘地アリト認ムルモノニ對シテハ其ノ旨ヲ指示シテ再調ヲ促シ再調後検査ヲ行フヲ要ス

00148

第十一條ノ検査ノ爲抽出シタル米穀ハタヒ裝中ニ返戻スヘシ但シ返戻困難ノ場合ハ請求者ニ交付シ返戻セシムヘシ

第十一條 穀物検査吏員ハ自己又ハ自己ノ家族ト直接受渡ニ關係アル米穀ノ検査請求ヲ受理シタルトキハ他ノ穀物検査吏員ニ其ノ検査ヲ求ムヘシ

第十二條 検査請求書ハ法人並組合ニ在リテハ事務所ノ所在地及其ノ名稱集合検査請求ニ在リテハ區長又ハ責務者ノ住所氏名ヲ記シ請求セシムヘシ
小作料トシテ受渡スル米穀ノ検査ニ在リテハ當該地主及小作者ノ連名ヲ以テ請求セシムヘシ
生産検査ノ請求ハ派出所ノ設置ナキ町村ニハ検査申込所ヲ設ケ請求セシムルコトヲ得

穀物検査吏員検査ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ包裝數ニ對スル検査手數料納收證票ヲ調査領收シ公平敏速ニ處理シ請求ノ順序ニ依リ検査ヲ執行スヘシ但シ受檢準備完了セサルモノ若ハ土地ノ狀況ニ依リ穀物検査吏員ノ順路ト現品所在地ト相反スルトキ又ハ検査ノ日割ヲ定メタルトキハ請求ノ順序ニ依ラサルコトヲ得

第十三條 穀物検査吏員検査ヲ行ヒタルトキハ規則第十三條ニ定ムル事項ノ外左ノ處理ヲ爲スヘシ
一、生産検査ヲ行ヒタルトキハ封緘紙ヲ包裝ノ縦繩結止(二重茶筌)ニ卷付ケ之ニ生産検査證印ヲ以テ封印ヲ爲ス

二、移出検査ヲ行ヒタルトキハ粒種及検査等級ニ從ヒ包裝面兩端ノ横繩ノ外側ニ各一個ノ検査等級證印ヲ押捺シ記號印ハ検査等級證印ノ横ニ一個ヲ押捺ス

三、入庫検査ヲ行ヒタルトキハ移出検査ニ準ス但シ検査等級證印ハ一個ヲ捺捺ス
袋ヲ用フルモノニ在リテハ封緘紙ヲ以テ卷封ヲ爲シ認印ヲ以テ封印ヲ爲ス但シ封緘紙ハ甲ヲ一等

乙ヲ二等丙ヲ三等丁ヲ四等格外ヲ等外トシテ使用スルコトヲ得

第十四條 穀物検査吏員ハ規則第十四條第二項ニ依リ検査請求ノ無効ト爲リタルモノノ顛末ハ検査報告ヲ以テ特ニ穀物検査所長ニ報告スヘシ

規則第十九條第二十條ニ違背スル者ノ米穀ノ検査ハ之ヲ中止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ規則第十四條第二項ヲ適用シ前項ニ準シ報告スヘシ

前二項ノ事項ハ検査中止簿ニ記載シ之ヲ整理スヘシ
本條ニ該當スル検査手數料ハ穀物検査手數料規則第三條ニ依ルヘシ

第十五條 規則第十五條ノ再検査ノ顛末ハ直ニ當該吏員ヨリ穀物検査所長ニ報告シ其ノ所管出張所又ハ派出所ハ當該帳簿ニ記載シ検査報告ヲ以テ毎月穀物検査所長ニ報告スヘシ

第十六條 穀物検査吏員規則第十六條ニ依リ更ニ検査ヲ行フニ當リ同條第二號第三號ノ一ニ該當スル米穀ニシテ内容異狀ナキコトヲ證明シ得ル場合ハ規則第十三條ニ依リ相當ノ處理ヲ爲スヘシ

規則第十六條第一號第四號第五號ノ一ニ該當スルモノハ規則第十八條第十三條ニ依リ相當ノ處理ヲ爲スヘシ

前各項ノ顛末ハ當該帳簿ニ之ヲ記載シ検査報告ヲ以テ毎月穀物検査所長ニ報告スヘシ

第十七條 規則第十七條ノ再検査ハ穀物検査ノ監督又ハ巡視ノ職ニ從事スル穀物検査吏員若ハ特ニ命シタル穀物検査吏員ニ於テ之ヲ行ヒ前検査ヲ更正スル必要アルトキハ規則第十八條ヲ適用スヘシ

前項ノ前検査更正ノ場合ハ之ヲ前検査所管出張所又ハ派出所ニ通知スルト共ニ當該帳簿ニ記載シ検査報告ヲ以テ毎月穀物検査所長ニ報告スヘシ

第十八條 規則第二十一條第二十二條第二十四條第二十六條ノ一ニ違反スル者ノ米穀ハ規則第十六條

條ニ依リ再検査ヲ行フモノトス

第十九條 規則第二十六條ノ検査證印トシテ生産検査證印移出入庫検査證印及検査免除印ヲ謂ス

第二十條 規則第二十八條ノ届出ヲ受ケ之ヲ承認シタルトキハ承認簿ニ記載スルト同時ニ必要ト認ムルトキハ關係穀物検査吏員ニ通報スヘシ

第二十一條 穀物検査吏員ハ規則第二十九條ノ受託米明細簿ヲ査閲シタルトキハ規則第二條第二項ニ依リ検査ヲ免除シタルモノナリヤ否ヤヲ照合スルヲ要ス

第二十二條 規則第三十條ヲ適用スヘキ米穀トハ移出検査ヲ受クヘキモノ若ハ規則第二十八條ノ承認ヲ受クヘキモノニシテ未タ其ノ検査若ハ承認ヲ受ケサルモノヲ謂フ

第二十三條 穀物検査吏員ハ受持管内ヲ巡視シ規則違反ノ事實ヲ發見シタルトキハ直ニ規則第三十一條ノ處理ヲ爲シ證據ヲ蒐集シテ穀物検査所長ノ指揮ヲ受ケ正規ノ手續ヲ爲スヘシ但シ急ヲ要スル場合ハ直ニ告發シ即時穀物検査所長ニ報告スヘシ

第二十四條 検査ヲ終了シタルトキハ當該帳簿ニ登錄シ検査請求書ヲ編綴整理シ毎月五日迄ニ其ノ前月分ヲ一絡メト爲シ検査報告ト共ニ穀物検査所長ニ提出スヘシ

第二十五條 本手續ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第二十六條 大正十四年四月鳥取縣訓令乙第九十一號穀物検査規則施行手續ハ之ヲ廢止ス

告 示

◆鳥取縣告示第百九號

00151

鳥取縣穀物検査所規程左ノ通之ヲ定ム

昭和四年四月二十七日

鳥取縣穀物検査所規程

鳥取縣知事

久保豊四郎

- 第一條 穀物検査所ハ米穀検査及米穀改良ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第二條 穀物検査所ハ鳥取市ニ置キ必要ト認ムル地ニ出張所及派出所ヲ置ク
出張所及派出所ノ位置名稱及所管區域ハ別ニ之ヲ告示ス
- 第三條 穀物検査所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 所長
- 技師
- 主事
- 技師補
- 技師手
- 検査員
- 生産検査員
- 検査員補
- 第四條 検査事務ヲ督勵セシムル爲督勵員検査ヲ補助セシムル爲助手ヲ置ク
- 第五條 所長ハ知事ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督ス
- 第六條 技師ハ所長ノ指揮ヲ承ケ所務ニ従事ス
- 第七條 主事補ハ所長ノ指揮ヲ承ケ庶務並會計事務ニ従事ス
- 第八條 技師検査員及生産検査員ハ上司ノ指揮ヲ承ケ米穀検査並米穀改良ニ關スル事務ニ従事ス
- 第九條 検査員補ハ上司ノ指揮ヲ承ケ米穀検査ニ従事ス

00152

附 則

- 第十條 本規程ハ昭和四年四月二十七日ヨリ之ヲ施行ス
- 第十一條 大正六年三月鳥取縣訓令第十號鳥取縣穀物検査所規程ハ之ヲ廢止ス
- 第十二條 本規程施行ノ際現ニ穀物検査所ニ在職スル者ハ本規程ニ定ムル職員ト看做ス

鳥取縣告示第百十號

鳥取縣穀物検査吏員徽章ヲ左ノ通定メ昭和四年四月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年四月二十七日

鳥取縣知事

久保豊四郎

鳥取縣穀物検査吏員徽章

直徑六分白色ノ金屬ニ紫色ノ檢字並稻形ヲ現ス形狀圖ノ如シ
本徽章ハ左胸部ニ附ス

徽章(雛形)



鳥取縣告示第百十一號

鳥取縣穀物検査所検査吏員採用規程左ノ通之ヲ定ム

昭和四年四月二十七日

鳥取縣知事

久保豊四郎

鳥取縣穀物検査所検査吏員採用規程

第一條 移出検査ニ従事スル検査員ハ年齢二十年以上四十五年未満ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ採用ス

一、本規程ニ依ル採用試験ニ合格シタル者

二、二箇年以上穀物検査事務ニ従事シ米質ノ鑑定ニ特殊ノ技能アリト認ムル者

三、判任官待遇以上ノ資格ヲ有スル者

四、小學校本科正教員ノ資格ヲ有スル者

五、陸海軍現役滿期ノ下士又ハ陸海軍下士適任證ヲ有スル者

第二條 生産検査ニ従事スル検査員及移出検査ニ従事スル検査員補ハ年齢二十年以上四十五年未満ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ銓衡ニ依リ又ハ講習ヲ修了シタル者ヨリ之ヲ採用ス

一、第一條ノ資格ヲ有スル者

二、高等小學校卒業程度以上ノ學力ヲ有シ三箇年以上農業ニ従事シタル者

三、現職ニ在ル町村農會技術員又ハ元検査吏員タリシ者但シ本號ニ該當スル者ニハ年齢ニ制限ヲ附セサルモノトス

第三條 採用試験ハ左ノ科目ニ就キ之ヲ行フ

一、作文

二、法規(職務上ニ關係アルモノ)

三、算術四則(筆算又ハ珠算)

四、米作法

第四條 検査吏員採用試験ヲ行フ期日場所ハ其ノ都度ニテ告示ス

第五條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六條 大正三年四月鳥取縣告示第七十八號鳥取縣穀物検査所検査員及検査員補採用規程ハ之ヲ廢止ス

告 諭

◆鳥取縣告諭

今回穀物検査規則ヲ改正シ從來施行セル移出検査ノ外新ニ生産検査ヲ實施スルコトト爲セリ
 米穀ハ本縣物産ノ首位ヲ占メ年産額七十萬石ヲ超エ其ノ品質ノ良否ト價格ノ高低トハ農家經濟ノ消長ニ關スルノミナラス縣經濟ニ至大ノ影響ヲ及ボスモノアルヲ以テ縣ハ明治四十四年米穀検査規則ヲ發布シ移出検査ヲ施行シ之カ改良ヲ圖リタル結果漸次其ノ面目ヲ改ムルニ至レリ
 然リト雖移出検査ノミニテハ未タ以テ十全ノ效果ヲ舉クル能ハス仍テ縣下產業界ノ趨勢並他府縣生産検査施行ノ實蹟ニ鑑ミ爰ニ生産検査ヲ施行スルノ必要ヲ認メ之ヲ産業調查會ニ諮リ其ノ決議ヲ經更ニ縣會ニ提案シテ滿場一致ノ協賛ヲ得本年ノ新穀ヨリ之ヲ實施シ産米ノ改良並取引ノ改善ヲ圖リ以テ本縣産米ノ聲價ヲ發揚シ農家ノ福利ヲ増進セムトス
 惟フニ生産検査ノ效果ハ耕種肥培病蟲害ノ防除乾燥調製及袋裝ノ改善並容量ノ充實等當業者ノ自覺ト努力ニ俟ツニアラサレハ之ヲ發揚スルニ由ナク殊ニ地主小作者ノ和衷協力ハ最モ緊切ナル事項ナリトス故ニ地主ハ地方ノ實情ニ應シ小作者ニ對シ産米改良ニ依ル利益ヲ均霑享受セシメ其ノ他適當ノ獎勵方法ヲ講シ小作者亦益々其ノ業務ニ精勵シ以テ産米ノ改良ニ努ムルコトヲ要ス若シ

夫レ検査施行ノ趣旨ヲ解セス之ニ違背スル者アラハ累ヲ本縣一般ノ産米ニ及ホシ其ノ聲價ヲ失墜
スルコトナキヲ保セス當業者宜シク規則改正ノ趣旨ヲ體得シ協同一致以テ其ノ實效ヲ舉クルコト
ニ努メラレムコトヲ望ム

昭和四年四月二十七日

鳥取縣知事 久保豊四郎

昭和四年四月廿七日印刷
昭和四年四月廿七日發行

(定價小口一枚參厘四毛)

發行
者 鳥取縣鳥取市東區
鳥取縣氣高郡大正村大字古海
松江刑務所鳥取支所